

## ◆第2回協議会でいただいた意見と対応

資料1

大分類	小分類	意見	対応
本体、誘導	検索	SEO（検索エンジン最適化）対策だが、検索したときにつながりやすいところをすごく工夫することが大事である。そうすれば、このプラットフォームの周知を懸命にする必要がなく、効率的である。	SEO対策については、最近、検索ロボットの能力が非常に高く、文字を画像に埋め込まなければかなりの確率で検索で拾われる。ポイントとしては、画像に文字を埋め込まないようにする。
本体	検索	何らかの事故が起こった際に自分で検索することが多いと思うので、より広く使用してもらいたい場合は、事故後の対応についての項目もあってもよい。	事故後の対応については、関連ページの紹介程度に留めるが、InstagramとTwitterでは主に予防のための対策を中心に投稿している。
本体	検索	自分の子供がけがをしたら、「子供 転んだ」とか「子供 落ちた」で検索すると、日本医師会の情報が割と上位に上がってくる。また、小児の緊急相談ができる「#8000」の番号を載せておくと親切である。	
本体	検索	例えば子供という表記一つとっても、漢字交じりと平仮名だけが混在したりするのでルールを作ればよい。	「こども」に表記を統一した。 対応済
本体	検索	投稿が多くなると、前にここにこんな投稿があったのをもう一回みたいときにどこにあるか探すのが大変になってしまうので、並び替えがあり、そこにも一応載って並び替えるという機能が追加できないか。	フォーラム機能を使うことで、キーワード検索が可能。対応済
本体	構造	全体構造について、スクロールが少し長い印象で、どこを見ればいいのかというのが分かりにくい。前回のサイトのように、ボタンがまずあって、そこを押すと、該当箇所まで飛ぶ設計の方が分かりやすい。	メニューボタンを設置 対応済
本体	コンセプト	「報告しない」、「検証してから責任を持って掲載されていなさそう」、「どう取り上げられるかで迷う」といった懸念点も挙がっているので、きちんと解消されるような利用のルールをあらかじめ示す必要がある。	既存のInstagram対応に加え、「聞かせてください」とは別の、比較的気軽に投稿できる窓口を設置する。そこに投稿された消費者の声は一旦Safe Kids Japanで受け止め、公開可能な形に整えた上で公開する。
本体	コンセプト	このサイトの対象年齢について分かりにくいという意見があり、年齢別に入り口を変える方法もあるのではないかと	ライブラリの入り口で「主たる対象」を明記することはできるかもしれないが、今のところは未対応。
本体	コンセプト	みんなに知ってほしいということと、みんなに伝えたいというのがちょっと違いが分かりにくい。予防、事例、事故に遭った対策の三つの柱で行くのがいい。	「みんなの声」「ケガを減らすためのライブラリ」「製品購入」と大きく3つの入り口を設置し、整理した。対応済

大分類	小分類	意見	対応
本体	コンセプト	スマホで見ることが圧倒的に今の若い父母は多いので、そこのインターフェースとかプラットフォームというのが重要である。	スマートフォンで見ていただくことを前提にレイアウトを見直した。
本体	コンセプト	スマホのインターフェースをよく見せてもらいたい。	対応済
本体	コンセプト	見てもらう、見たい気持ちになる、参加できるというポータルサイトの一つの特徴を主張して、誰もがのぞける気楽さでリピーターになってもらうような作り方ができればいい。	レイアウトを改善した。対応済 リピーターについては、SNSの方でプレゼント企画やデザイン募集企画などを頻繁に実施し、何かおもしろいことがある、役に立つことがある、という印象を持っていただくようにする。
本体	コンセプト	平易であることは必要だが、悪い言い方をすると、子供だましの思われると損をするので、あまりお子様向けな感じにまでならないことは少し気をつけてもらいたい。	今後のサイト運営の参考にさせていただく。
本体	コンセプト	コンセプトの示し方というか、このサイトがどういうサイトなのか、このトップページに入ったときによく分からない。 ・プラットフォームでご挨拶というのが違和感があり、意味合いがよく分からない。 ・コンセプトをしっかり打ち出すのであれば、明確にコンテンツ、目的を説明書きする方がよい。	プラットフォームの名称を目的に沿ったものとした。トップ画面にコンセプトを文章とイラストで明示。挨拶文に替わり、「このプラットフォームがめざすもの」として説明文を入れた。 対応済。

大分類	小分類	意見	対応
本体	コンセプト	サブタイトルについて、みんなに知ってほしいとかみんなに伝えたい、初めてのチャレンジって、いま一つ何かぼんやりした感じがして、ネーミングを少し検討してもらいたい。	「こどものケガを減らすためにみんなをつなぐプラットフォーム」とネーミング。対応済
本体、誘導	コンセプト	既存の基礎自治体の子育て世代向けの情報の発信の部分、ホームページなりLINE なりに一つ入り口を設けてもらい、Safe Kids に飛ぶ、リンクが張ってある形を取ると知ってもらう機会が増える。	東京都の協力を得て進める。
本体	コンセプト	このプラットフォームは情報発信と収集であると明示して説明した方が読者は読みやすい。	「みんなの声」「ケガを減らすためのライブラリ」「製品購入」と大きく3つの入り口を設置し、整理した。対応済
本体	コンセプト	Safe Kids Japan と東京都、キッズデザイン協議会との関係が分からない。アンケートでも公共への信頼性はすごく高いので、読者が違っていたことを認識すると、後から見たときにだまされたと思われるので残念。明確に分かるような関係の位置付けがあれば、消費者はそれを知った上で参加できると思う。	東京都の位置付けについては一番下に「支援を受けている」旨を表記した。キッズデザイン協議会については、安全性の高い製品購入の際にキッズデザイン賞受賞作品を優先的に紹介させていただく関係性。外部サイトに遷移する際は「ここからはSafe Kidsのサイトを離れる」旨を明記する。対応済
本体	コンセプト	最初のうちの投稿は決められた5人だけということが分かる形になっているのか。透明性が求められる今の社会では気をつけないといけない。	5人が担当するのはプラットフォームのアカウントのSNSの投稿のみで、「みんなの声」とは別。「みんなの声」は広く一般の方から投稿していただく。連絡用にメールアドレスだけはいただくが、匿名での投稿も可能になっている。対応済
本体	コンセプト	明確に短い言葉であるいは絵というかアイコンとか何かで示せるといい。	今後のサイト運営の参考にさせていただく。

大分類	小分類	意見	対応
本体	コンセプト	対象年齢による、カテゴリー分けが何か機能上できるか。	ライブラリの入り口で「主たる対象」を明記することはできるかもしれないが、今のところは未対応。
本体	コンセプト コンテンツ	このプラットフォームでは、事故事例とか安全対策、事故防止のポイントなどの事故予防の情報と、けがをしたときの応急処置とか事故後の対処方法のどちらに重きを置くのか。	事故後の対応については、関連ページの紹介程度に留めるが、InstagramとTwitterでは主に予防のための対策を中心に投稿している。
本体	コンセプト コンテンツ	プラットフォームに子どもの投稿も可能かどうか検討してほしい。	今後のサイト運営の参考にさせていただく。
本体	コンセプト コンテンツ	コンテンツの「ライブラリー」と、Safe Kids コミュニティーの中の「Safe Kids ライブラリー」について、内容は全然違うものだと思うが、「ライブラリー」の意味も含め、混同しやすいかもしれない。	「ライブラリ」という言葉は、「ケガを減らすためのライブラリ」に使用するなど整理した。対応済
本体	コンセプト コンテンツ	「みんなに伝えたい」は、最初は5名の投稿者が選ばれるとのことで、その後投稿者を広げるときに投稿の修正をどうするのかなど、どの程度、半公的な場としていくのか懸念する。	既存のInstagram対応に加え、「聞かせてください」とは別の、比較的気軽に投稿できる窓口を設置する。そこに投稿された消費者の声は一旦Safe Kids Japanで受け止め、公開可能な形に整えた上で公開する。対応済
本体	コンセプト コンテンツ	For Parentsの事故事例と対策のところ、事故事例、予防法の順に並んでいるが、タイトルとまらず予防策が先にきて、その下に事例の説明等があると、ニーズに応じやすいのではないか。	今後のサイト運営の参考にさせていただく。
本体	コンセプト コンテンツ	消費者からの情報というのは、一般の方が投稿されたものが載るのか。For Businessのコンテンツに、消費者からの直接の意見が入るのが適切なのか。	既存のInstagram対応に加え、「聞かせてください」とは別の、比較的気軽に投稿できる窓口を設置する。そこに投稿された消費者の声は一旦Safe Kids Japanで受け止め、公開可能な形に整えた上で公開する。対応済
本体	コンテンツ	文字が多いと読まれないので、ゲームやクイズなど遊び要素も入れると、面白い印象となるのではないか。	今後のサイト運営の参考にさせていただく。

大分類	小分類	意見	対応
本体	コンテンツ	傷害という言葉をもうちょっとソフトな感じの言葉にしてもらいたい。	Safe Kids Japanでは「事故」ではなく「傷害」という言葉を使っている。それは「事故」には「思いがけず起きた不幸なできごと」という意味合いがあるが、「傷害」は「予測ができ、制御も可能」という意味があるため。しかし確かに「傷害」は一般的なワードではないので、今後はなるべく「ケガ」を使っていく。対応済
本体	コンテンツ	投稿が多くなった場合、どのくらい古いものから消していくのか。	基本的には削除はせず、すべて時系列で掲載していく。検索についてはハッシュタグ「#」を活用する。対応済
本体	コンテンツ	楽しみながら親子などで安全に関して学べるゲームなどのコンテンツがあると興味を引いてもらえるのではないかと。開設当初からなくても、折々で内容が追加されてるとよい。	今後のサイト運営の参考にさせていただく。
本体	コンテンツ	投稿内容は、修正なしですぐ掲載されるのか。内容の常時チェックはなかなか難しいと思うので、一旦内容を確認して若干修正なり不適切な部分を除いてから掲載してはどうか。	既存のInstagram対応に加え、「聞かせてください」とは別の、比較的気軽に投稿できる窓口を設置する。そこに投稿された消費者の声は一旦Safe Kids Japanで受け止め、公開可能な形に整えた上で公開する。対応済
本体	コンテンツ	最初5名の方に書いてもらうとの話だが、運用しているうちに方向性がずれることも懸念されるので、統括者を置くなどの方針を考えてはどうか。	現在、委託先の会社でPM（プロジェクト・マネージャー）を設置し、そのPMが交通整理をする形になっている。また、5人が担当するのはSNSのみで、「みんなの声」は担当外。対応済
本体	コンテンツ	投稿場所が分かりにくいので、トップページに投稿先の案内や、インスタのマーク、リンク先を張るなどしたほうがよい。	「みんなの声」「ケガを減らすためのライブラリ」「製品購入」と大きく3つの入り口を設置し、整理した。対応済
本体	コンテンツ	東京消防庁が今後何か広報製作物等を作ったときに、掲載可能か。	何を掲載するかは当方で決めるが、東京消防庁のコーナーを設けても良いと考えている。
本体	コンテンツ	最初のページのお知らせ一覧という項目が示す内容は何か。見え方もあまり目立たないので、例えば最新の事故に関する啓発内容であれば、少し見せ方を変えたほうがよい。	ここはSafe Kidsからの公式の新着情報を載せるところと考えている。それはたとえば直近で起きた事故のことになるかもしれないし、イベント情報になるかもしれない。
本体	コンテンツ	リンク先が、プラットフォームのサイト外に飛ぶ場合、そのことの記載が必要ではないか。	「※リンクをクリックすると外部サイトに移動します」と記載した。対応済

大分類	小分類	意見	対応
本体	デザイン	消費者は文字離れ、言葉の理解力がすごく低くなっていると感じることがあるので、極力平易な言葉にして表現したほうがいい。	極力平易に言葉に修正したが、引き続き今後のサイト運営の参考にさせていただく。
本体	デザイン	アンケートの中にもあったが、英語が多い。英語は多分必要だと思うが、もうちょっと分かりやすい日本語も、ポイントポイントでは必要ではないか。	英語表現の多くをわかりやすい日本語に置き換えた。対応済
本体	デザイン	忍者のキャラクターをもうちょっとアピールできればよい。	より目立つよう、様々なポイントで使用した。Instagramでニンジャはじめキャラクターのお名前募集キャンペーンを実施する。
本体	デザイン	英語が出てくると、消費者はよく分からないと感じる傾向があるので、使い方は注意する必要があると思う。プラットフォーム内の言葉は、あまり英語にしないほうがいいのかもしれない。	英語表現の多くをわかりやすい日本語に置き換えた。対応済
本体	デザイン	忍者のキャラクターがいるので、プラットフォームの中でもうまく使えればよい。	Instagramでニンジャはじめキャラクターのお名前募集キャンペーンを実施する。
本体	デザイン	事件事例と対策のコンテンツのタイトルがフォーペアレンツと書いてある。ペアレンツというと両親というイメージになるが、子育てしているのには祖父母もいるし、必ずしも血縁者ではない場合もあるので、子育てをしている皆様へといった、別な言い回しがあるといい。	「こどもを育てている方へ」に修正した。対応済
本体	デザイン	子供という表記が最近こども家庭庁ができた関係だと思うが、平仮名のこどもが推奨されているようだ。	「こども」で統一した。対応済
本体	デザイン	色数が多いとアンケートにもあり、例えば、枠の色と中のボタンは同系色を使われているが、同じ色で明度差をつけたボタンの色でもいい。枠の色と同じでボタンは明度差があるものでもいい。	枠の色はそれぞれ3つの入り口の色とあわせ、ボタンとは別の配色とした。対応済
本体	デザイン	最初のトップの右上に、東京都のマークと日本財団のマークがある。もし背景の色を変えられるのであれば黄色に合わせるか、もしくはリンクがあるので、少しその四角い白い枠ではない方がいい。仮で画像を配置しているだけなのかなと誤解される。	具体的には、SKJのロゴを上を持ってきて、東京都と日本財団のロゴは下に置くという形。対応済
本体	デザイン	アクセシビリティデザインについて、黄色い背景にオレンジの字が見えにくい。祖父母が子供を面倒見ていることが今とても多いので、この背景色と文字色のコントラストをもう少し工夫をしていただきたい。	背景を白くするなど視認性の向上を目指す。対応済
本体		このコミュニティでは、みんなに伝えたい、けが、経験を紹介することがメインになる。いきなり「プロが教えるよ」でコミュニティだと、ライブラリーに近いので、その整理は必要である。	「みんなの声」の先頭を「こどもを育てている方から」とした。対応済
本体		忙しい世代なので動画はあまり見てくれない。ごあいさつの上にあった動画は見えていない。	このプラットフォームの動画として作り替えた。対応済